

令和3年度 第2回 そだつ部会

密にならないようソーシャルディスタンスを保ちながら、第2回目を開催しました。



第2回目は『子育てについて考えよう～家族支援～』をテーマに赤磐ぐんぐん管理者兼児童発達支援管理責任者 松田紗代氏を講師にお迎えし、ペアレントプログラムの紹介、ペアワーク（ペアレントプログラムの体験）、グループワーク（家族支援を行うために何が必要か）を行いました。



○松田先生よりペアレントプログラムの紹介

「ペアレントプログラム」は、保護者が子育てがうまくいかないと感じたり、子供の発達が気になった段階での最初のステップとして開発されたプログラムです。松田先生の分かりやすく、丁寧なお話しの、皆真剣に聞き入りました。



○実際にペアワークを体験！！



現状把握表（自分編・こども編）を記入後、ペアになり現状把握表を見せながら話し、「いいな」と思ったことはすぐに相手を褒めました。どのグループも開始後すぐに話が盛り上がり、自分やこどものことをじっくりと話し、受け止めてもらえる機会となりました。ほめポイントが沢山見つけられて、とてもいい気分になりました～「当たり前はほめポイント」という点で救われました～という声もありました。



○4グループに分かれ、「家族支援」に何が必要か話し合いました

こんなものがあつたらなあ♪

- ・母親支援としてカウンセリングや頼れる場所。療育グッズが交換交換できる場所。
- ・高学年で療育が必要になった時にどうしたらよいか知る場所。若いペアレントトレーナー。
- ・保健師とのつながり。就学以降に集える場。
- ・学校への送り出しサポート。手帳や診断を持っている保護者の特典。きょうだい児への支援・・・などなど。

